

防災便り

2025年9月1日発行
第2号（通算76号）
見明川防災本部
本部長 阪口 征二
総務班 牧田 渉

見明川 防災本部 のホームページ：<https://miakegawabousai.jpn.org>
(見 明 川 防 災)



9月1日は、関東大震災から102年になります。今回は、震災時に見明川住宅で想定される「**在宅避難**」について考えてみましょう。

もし、一部の戸建てが全壊する大地震が来たら・・・



自宅にいた貴方は、大きな揺れの中、自分の命を守れました。RC構造の見明川住宅の建物は無事で、中学校への避難ではなく、貴方は在宅避難を選択します。さて余震が続いていますが、自宅内はどのような状態ですか。

① 余震でも家族全員が安心して寝られる、避難部屋は確保できますか。

- ・大型家電、家具、本棚や食器棚には、倒壊や収納物の散乱を防ぐ対策を行いましょう。
- ・普段から荷物は放置せず、部屋の片付けをしておきましょう。
- ・避難部屋の候補として、家具や荷物を極力置かない部屋を設けましょう。



② 電気が止まっても、困らない準備はありますか。



- ・ランタン、懐中電灯、ヘッドライトなど、明かりは最低家族の人数分が必要です。
- ・停電時は充電できません。乾電池式のライトやラジオ、乾電池自体もストックしておきましょう。

・情報取得や連絡に、今やスマホは必須です。充電用サブバッテリーがあると便利です。サブバッテリーは、時々充電しておきましょう。

③ ガスが止まっても、生活できる準備はありますか。

- ・カセットコンロと、カセットガスをストックしておきましょう。
- ・カセットガスは使用期限があります。時々使用し、定期的に入れ替えましょう。



④ 水道が止まって、生活できる準備はありますか。

- ・飲料水として、1日2ℓ×家族人数×1週間（最低3日）分を備蓄しておきましょう。
- ・飲料以外の衛生用（手洗い、洗面など）に、更に1人1日1ℓが必要とされています。
- ・乳幼児や高齢者、また特別な事情がある場合など、更に水が必要な場合があります。家族構成にあわせて、準備しておきましょう。
- ・飲料水のペットボトルやタンクをローリングストックしたり、風呂の湯を常にとめておいたり、普段の生活パターンから工夫しましょう。

⑤ 下水が流せなくても、トイレに困らない準備はありますか。



- ・簡易トイレの備えなど、排泄ではご自身や家族の事情にあった準備が必要です。
- ・自宅の便器に被せて使用し凝固剤で固めて処理する非常用トイレセットなど、機能や使いやすさが日進月歩の防災用品に日頃から注目しておきましょう。

⑥ その他の社会インフラがストップしても、困らない備えはありますか。

・スーパーやコンビニは品切れし、冷凍冷蔵庫は停電で頼れません。常温保存の缶詰やレトルト食品のローリングストックを、普段から生活パターンにしておきましょう。

・常備薬、マスク、おむつ、ミルク、生理用品、ガソリン、ペットフード等、家族構成による必需品は、それぞれ在庫ギリギリにせず、常に余裕をもっておきましょう。



・災害時はデマ、偽情報が多く出回ります。振り回されない様、信頼できる市の公式サイトや防災アプリ、見明川防災本部のサイトなどを登録しておきましょう。

・見明川防災本部は、震度5強以上で本部員が自治会館に集合し、（必要に応じて）常設の無線機で浦安市危機管理課と連絡をとり、住民へ必要な案内を行います。震災時に情報で迷いや恐れを感じたら、自治会館の防災本部員にご相談下さい。

～．～

秋の見明川防災フェア

- 11月16日（日）午前中、見明川自治会防災本部主催の防災フェアを開催します。

- 起震車による地震体験、耐熱性ポリ袋を使ったパッククッキング調理体験&試食、日本赤十字社による救急救命体験、消火器/ポンプ放水訓練、お子様向けイベントなどを計画中です。



- たくさんの住民のご参加をお待ちします。防災への備え向上にお役立て下さい。

- 詳細は、10月1日発行予定の次号防災便りでお知らせします。